

高規格幹線道路を含む広域道路ネットワークの整備促進について

北信越部会提出
説明担当 小矢部市

道路は、活力ある経済・社会活動を支える最も根幹的な社会資本であり、市民生活全般にとって必要不可欠な施設であります。

東海北陸自動車道や能越自動車道などの広域道路ネットワークの充実を図ることは、地域産業を物流面から支えるだけでなく、豪雨や豪雪、また危惧される大地震等の災害時における迅速な復旧・復興、企業等の事業継続への支援など、有事においても地域を支えるため、必要不可欠であります。

つきましては、太平洋側から日本海側への観光と物流のさらなる活性化、医療アクセスの向上や生活環境の改善、企業立地の促進による地方創生につながるためにも、道路事業予算を総額確保するとともに、平常時・災害時を問わない安全かつ円滑な道路ネットワークの確保に向け、次の高規格幹線道路を重要物流道路に指定するとともに、道路整備の促進について格段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

記

1 東海北陸自動車道

飛騨清見 I C—小矢部砺波 J C T間における付加車線の整備促進及びトンネル区間を含む全線 4 車線化の早期実現を図ること。

2 能越自動車道

事業化区間の早期完成及び既供用区間における 4 車線化の早期事業着手を図ること。

また、国の一元管理による一体的かつ計画的な維持整備や、緊急時における機動的な運営管理など、利用者の利便性向上を図ること。